

1,253件の中から選ばれた!

SUENAGA Group 交通安全×SDGs

『交通安全川柳』を紹介

『SUENAGA Group 春の交通安全川柳』
表彰式並びに昼食会を開催しました!



6月23日、岡山トヨペット本社にて、「SUENAGA Group 春の交通安全川柳」の表彰式を執り行いました。

この催しは、SUENAGA GroupのCSR分科会メンバーであるSOが、SUENAGA Group全社員の交通安全への意識向上を図るとともに、交通安全とSDGsの関連性を知ってもらおうと企画したもので、「令和4年春の全国交通安全運動」期間に合わせて、グループ内で交通安全をテーマにした川柳コンテストを開催していました。

表彰式後には、末長社長と受賞者、関係者で昼食懇親会を行い、受賞者からの川柳投稿に繋がったという『実体験エピソード』に驚きや共感もありつつ、交通安全について改めて参加者一同身が引き締まる思いでした。



Pick up!

尾塚さんが受賞されたトロフィーはSDGsに適合したエシカルクリスタル。高度な透明度と輝きを持ちSDGs12の「つくる責任・使う責任」を目標とした持続可能な素材を使用しています。

[受賞者と受賞作品]

最優秀賞

ゼブラゾーン 一旦停止で スマイルゾーン

運転中に信号のない横断歩道を小学生の女の子が渡ろうとしていたので停車した時に、女の子は歩道を渡りこちらを振り返って笑顔で会釈してくれました。その時の気持ちがほっこりした情景を思い出しこの川柳を思いつきました。相手が人でも車でも譲り合う、譲ってもらったらお礼をする。お互いにとても気持ちが良く、この連鎖が事故をなくすと思います。

岡山トヨペット
営業部 売店戦略室 室長
尾塚 徹さん



優秀賞

LINEより大切なのは 停止ライン

一時停止を無視した車と事故をした経験から「停止線」の川柳を思いつきました。この川柳を目にすることにより、多くの人に安全運転を心がけて欲しいです。

トヨタホーム岡山
建築事業部
設計・積算課 設計
平井 愛海さん



優秀賞

譲り合い 人と人との 思いやり

ドライバー一人ひとりが他の車や歩行者のことを思いやり、譲り合う気持ちを持ってば、事故や違反が減るのではないかと思います。

岡山土地倉庫
空港団地営業所
作業課
坂藤 健翔さん



社長賞

無意識の「多分」「だろう」が 大事故に

不注意の車と事故を起こしかけたことで、自分が交通ルールを守るだけでなく、周囲の状況にも意識を向けなければいけないという思いを川柳に込めました。

トヨタレンタリース新岡山
総務部
宇田 奈々枝さん



初めは緊張しましたが
会が進むにつれ楽しく
食事会をすることができました！

秋の全国交通安全運動にあわせて、皆様の自己啓発に繋がるようなイベントを計画中です!